

愛媛大学理学部理学科 数学・数理情報コースで学ぼう

純粋数学・応用数学・数理情報を広く・深く学べるコースです

数千年の歴史を持つ数学を、21 世紀になってその重要性が認識されるようになった数理情報科学・データサイエンスとともに、広く・深く学ぶことができる、それが数学・数理情報コースの魅力です。

数学・数理情報コースは、数学および情報科学の活用・発展の一翼を担うことで社会に貢献できる人材の育成を目的として、数学の広範な理論体系の基礎および情報科学の基本的知識・技能を教育するとともに、専門分野の枠を超えて協働できる能力を養う教育を行います。

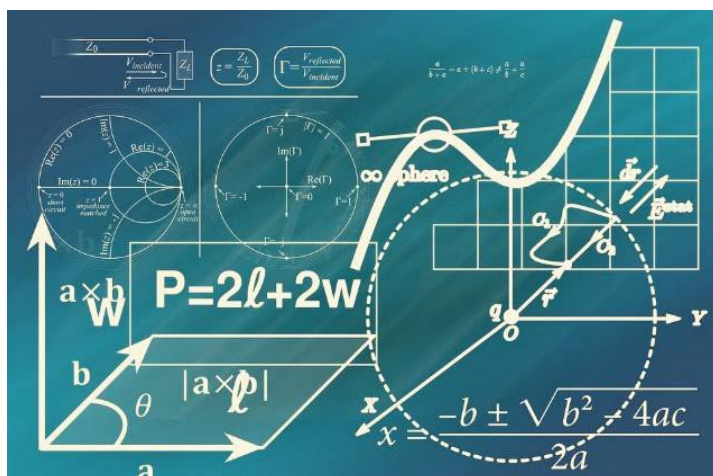
教員免許状（中学・高校）が取得できます

数学・数理情報コースには、中学校教諭一種免許状（数学）および高等学校教諭一種免許状（数学）の取得に必要な科目等がそろっています。

数学を中心に学ぶことも、データサイエンスを中心に学ぶこともできます

数学・数理情報コースには、様々な履修モデルがあり、数学を中心に学ぶことも、データサイエンスを中心に学ぶこともできます。バランスをとって学ぶこともできます。

数学を中心に学ぶ履修モデルでは、数学を基礎から発展まで突き詰めて学んでいきます。データサイエンスを中心に学ぶ履修モデルでは、データサイエンスをテーマとした実践的な科目を受講します。この履修モデルに沿って学び、必要な条件を満たして学士課程を修了することで、「数学・数理情報コース データサイエンス学修認定証」が授与されます。



数学・数理情報コースオリジナル HP
<https://www.math.sci.ehime-u.ac.jp>



AI 時代の 数学・数理情報分野の学び

AI 時代だからこそ、人間自身が考えることの重要性

時代は今、まさに変わろうとしています。

生成 AI の技術が急速に進歩し、AI が様々な分野で実用化されるようになってきています。

これにより、世の中は大きく変革し、社会で活躍する上で必要な能力も、大幅に変わりつつあります。

それに伴い、大学生が社会に出る前に、身に付けるべき能力も変わってきています。

いわゆる「詰め込み型」で身に付く能力は、AI が最も得意とするところです。

人間は、処理の量・速さ・精度において、AI に太刀打ちできません。

AI の得意分野は AI に任せ、人間は、AI には真似できない人間らしい能力を磨く必要があります。

その重要な能力として、論理的思考力が挙げられます。

理学部の数学・数理情報コースの特徴は、AI の活用は前提としつつ、人間が自ら情報を論理的に分析し、意思決定するための能力に主眼を置いている点です。

AI 時代だからこそ、高まる大学院進学的重要性

AI の実用化により、人間である学生たちには、より高度な学びが求められるようになっていきます。

このため、文部科学省も、大学院レベルでの高度デジタル情報人材の育成に注力しています。

愛媛大学でも、国からの財政支援も受けて、大学院レベルの数理情報分野の教育を強化しました。

具体的には、令和 5 年度には、大学院理工学研究科に数理情報プログラムを設置しました。

さらに、令和 6 年度には、数理情報プログラムの定員を、20 名増員しました。

数理情報プログラムは、理学部の数学・数理情報コース出身者や、工学部の情報系のコース出身者の主要な進学先となっています。

学部時代に、数学・数理情報コースで「自ら考える能力」を鍛えてきた学生たちが、大学院では、「AI に考えさせる技術」を学んできた工学部出身者たちと合流し、協働して課題解決能力を高めます。